



第14回関東大学春季交流大会Cグループメンバー表

2025/05/25

13:00 Kick Off

成蹊大G

第14回関東大学春季交流大会Cグループ 第6節

成蹊大学 (Host)			中央大学 (Visitor)		
合計得点	前半	後半	前半	後半	合計得点
			T		
			G		
			PG		
			DG		
			計		

レフリー	
榎岡大輝(関東協会)	
タッチジャッジ	

成蹊大学					
#	Pos.	氏名	資格学年	身長/体重	出身/所属
1	PR	勝田 圭哉	4	163/87	埼玉ジュニア南北合同チーム → 伊奈学園高校
2	HO	渡邊 有	4	169/92	関東学院中学 → 関東学院高校
3	PR	西澤 恭平	4	175/104	成蹊中学 → 成蹊高校
4	LO	福田 壮吾	2	180/82	市川RRSりとるキング → 八千代松陰高校
5	LO	小林 隼太郎	1	181/93	茗溪学園中学 → 茗溪学園高校
6	FL	鈴木 太加良	4	179/100	関東学院六浦中学 → 関東学院六浦高校
7	FL	大島 裕太	4	160/77	桐蔭学園中学 → 桐蔭学園高校
8	No.8	惣福協 和	4	177/92	筑紫丘RCJS → 大分舞鶴高校
9	SH	鈴木 悠真	4	171/71	南茨城RS → 昌平高校
10	SO	能登屋 翔	4	168/75	ビックブルー・Jr → 幕張総合高校
11	WTB	瀧澤 日々輝	4	176/85	高崎RC少年部 → 東京農業大学第二高校
12	CTB	菊本 有真	4	176/83	広島ラガー・Jr.RS → 崇徳高校
13	CTB	坂口 寛智	2	172/85	住道中学校 → 布施高校
14	WTB	青木 信梓	4	172/80	豊多摩高校
15	FB	天野 躍大	2	174/66	幕張総合高校
16	Re.	小田 隼平	1	172/95	関西大学北陽中学・四條畷RS → 関西大学北陽高校
17		大原 久怜	1	169/96	成蹊中学・ワセダクラブ・RS → 成蹊高校
18		不破 銀	2	179/98	千歳中校 → 流通経済大学付属柏高校
19		木村 駿平	4	172/83	桐蔭学園中学 → 桐蔭学園高校
20		内田 晴崇	1	171/65	大連合・ブレイブルーバス府中Jr → 東福岡高校
21		吉村 泰晴	2	166/72	春日部高校
22		若松 知紘	2	174/66	府中第二中学・東芝府中RS → 成蹊高校
23		高林 麓	1	175/83	茗溪学園中学 → 茗溪学園高校
24		登録 無し1	4	200/130	無し → 無し
25	登録 無し2	4	200/130	無し → 無し	
26	登録 無し3	4	200/130	無し → 無し	

中央大学					
#	Pos.	氏名	資格学年	身長/体重	出身/所属
1	PR	松沢 和輝	3	174/107	天理高校
2	HO	矢富 蓮	1	164/103	常翔学園高校
3	PR	山口 幸之助	4	183/111	國學院大学栃木高校
4	LO	北浦 佑亮	3	180/99	天理高校
5	LO	金 大輝	2	180/100	東京朝鮮高級学校(高級部)
6	FL	鈴木 敦士	3	171/94	桐蔭学園高校
7	FL	真田 隼翔	4	178/87	桐蔭学園高校
8	No.8	堂園 昂修	4	175/96	桐蔭学園高校
9	SH	須田 龍之介	3	175/85	大阪桐蔭高校
10	SO	西本 壮	2	176/87	國學院大学栃木高校
11	WTB	島サキ(山に奇) 聖弥	3	163/72	國學院大学栃木高校
12	CTB	迫中 一斗	3	180/92	佐賀工業高校
13	CTB	平坂 桜士	1	172/92	明和県央高校
14	WTB	水野 拓	3	175/84	東京高校
15	FB	坂本 亮	1	182/86	御所実業高校
16	Re.	太田 湊	2	170/104	尾道高校
17		川口 翔大	2	173/93	桐蔭学園高校
18		畔地 毅	4	187/126	大東文化第一高校
19		横山 仁道	1	185/98	倉敷高校
20		百瀬 祐	4	186/105	桐蔭学園高校
21		徳山 昇真	3	177/78	桐蔭学園高校
22		下坂 陸	3	182/82	國學院大学久我山高校
23		千葉 央貴	4	174/87	國學院大学栃木高校
24		三浦 しん	4	176/85	國學院大学久我山高校
25		北田 優人	1	178/90	常翔学園高校
26		久保田 泰綺	3	163/74	日本航空高校石川

* 背番号の白抜きはキャプテン * 資格は F:外国籍, A:アジア, E:特別 * メンバーは変更になる場合があります。メンバーボードをご確認下さい。

『FOR ALL, FOR EARTH. 日本ラグビー協会は、いつも環境に配慮した活動をめざしています』